

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	学校プール管理事務			事業コード	0902
担当課等	所属名	教育委員会 学校教育課	担当係名		
	課長名	教育委員会事務局 学校教育課	担当者名	照井 大道	電話番号 7337

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	将来を担う次世代の育成	コード 1
	基本事業	幼稚園・小中学校教育の充実	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 10款 2項 1目 学校プール管理事務(006-01) 一般会計 10款 3項 1目 学校プール管理事務(006-01)	
	特記事項					
	事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 不明年度～)				
事務事業の概要	学校プール薬品を購入し、水質を適性に管理する。					
根拠法令等	平成13年8月28日、文部科学省学校環境衛生の基準改定					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
文部科学省学校環境衛生の基準を満たし、安全で衛生的な環境で水泳の授業を行うため実施したものである。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
これまでどおり安全で衛生的な環境のもと水泳の授業が実施されること。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
児童生徒数は減少しているが、体育の授業数自体は減少していない。今後も継続が必要な事業である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市内の小中学校のプール	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市立小中学校のプール個数	単位	個
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・委員会で学校ごとに予算を配分し、各学校で計画的に薬品を購入した。 ・各学校では、学校薬剤師と連携のもと、適切に学校プール用薬品を投入し水質を管理した。 ・水泳シーズン中に2回水質検査を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様の事業を実施予定	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 薬品購入校数	単位	校
				B. 水質検査(定期)実施回数	単位	回
				C. 水質検査(再検査)実施回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	安全で快適な環境で水泳の授業をとり進めるためにプールの水質管理を行う。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 水質に異常が発生しなかった学校数 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	校
				B.	単位	
				C.	単位	
				【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	学力の向上が図られる 心身共に健全育成が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較(単位:ポイント) 問題行動調査(不登校)の出現率(単位:ポイント)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市立小中学校のプール個数	個	60	60	60	60	60	60	26 年度 60
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	薬品購入校数	校	60	60	60	60	60	60	26 年度 60
活動 指標B	水質検査(定期)実施回数	回	120	120	120	120	122	122	26 年度 120
活動 指標C	水質検査(再検査)実施回数	回	0	0	0	3	0	0	26 年度 0
成果 指標A	水質に異常が発生しなかった学校数	校	55	60	60	60	60	60	26 年度 60
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	9,390	8,907	8,429	8,371	9,064	9,064	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	9,390	8,907	8,429	8,371	9,064	9,064	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	9,390	8,907	8,429	8,371	9,064	9,064	*****
	延べ業務時間数	時間	25	25	25	25	25	25	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	100	100	100	100	100	100	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	9,490	9,007	8,529	8,471	9,164	9,164	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☐ 類似事業がある ☒ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること こまめな見回りや薬品の早期投与などを行う。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 特に問題はない。

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)						
	① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり		水質の衛生面や安全面に配慮した、水泳指導が行われた。						
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)								
	<table border="1"><tr><td>☐ 終了 ☒ 継続</td><td rowspan="3"></td><td>☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td></tr><tr><td>☐ 廃止 ☐ 休止</td><td>☐ 改革改善を行う</td></tr><tr><td></td><td>☐ 事業統廃合・連携</td></tr></table> 方向付けの理由と改革改善の内容 学習指導要領に示めされた授業内容の実施を図る上で、必要な事業である。			☐ 終了 ☒ 継続		☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	☐ 廃止 ☐ 休止	☐ 改革改善を行う	
☐ 終了 ☒ 継続		☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)							
☐ 廃止 ☐ 休止		☐ 改革改善を行う							
		☐ 事業統廃合・連携							